

# 生涯学習社会の実現への取組

～足利学校 自学自習の精神を次代に～

地域の  
特色ある  
活動

## 栃木県足利市教育委員会

### 1 はじめに

史跡足利学校の杏壇門の前に「<sup>かなふりまつ</sup>字降松」があります。足利学校が最も栄えていた戦国時代のころ、学徒が本を書写する際に出会った読めない字や意味の分からない言葉を書いてこの松の枝に結んでおくと、翌朝にはよみがなや意味がふられていたそうです。



この伝説は、足利学校の学び方である自学自習の精神を表すものです。本市が全国に先駆けて策定した「足利市の教育目標」も、市民誰もが人生の目標と生きがいをもって豊かな暮らしをしてほしいとの願いが込められた、足利学校の自学自習の精神を受け継いだものです。そして、自学自習の精神こそが現代教育の課題である主体的な学びにつながっているのです。

### 2 「足利市の教育目標」の具現化

本市は、5年の歳月をかけて昭和56年に全国に先駆けて約1万人の市民参加により「足利市の教育目標」を策定しました。そして、この具現化こそが生涯学習社会の実現と位置づけ、市民に生涯にわたる学習機会の提供と参加を奨励する取り組みなどを積極的に推進してきました。乳幼児期から高齢期まで人生全般にわたって切れ目なく設定された教育目標は、全国的にも例がなく、まさに足利市民の誇りとするところです。

その後、平成10年に見直しを行い、さらに平成30年に、高度情報化など、新たな社会情勢の変化並びに市民の意識や実態の変化などに対応するため市民参加のもと再び見直しを行いました。

教育目標は、7つの柱と70の目標、その具現のための達成目標、さらに具体策及び教育機能連関から成り立っています。これらを、市民自らが目標を立てる際の参考として、行政が施策を立てる際の拠り所として一層の活用が促進されるよう周知啓発に努めています。また、生涯学習を推進するため、本市教育の原点である、日本最古の学校「足利学校」のある学び舎のまちにふさわしい、先人の英知を次代に継承するため、生涯学習振興大会を毎年開催しています。

大会では、積極的な生涯学習活動を行っている個人及び団体を顕彰します。また、市民の学習機会への参加を奨励するために設置した、市民大学あしかが学校の入学者に、学習成果に応じた称号を授与しています。さらに、市内小中学生による合唱や生涯学習に関連した記念講演会等も合わせて実施しています。



### 3 学校教育に息づく足利学校の精神

学校教育の場においては、生涯学習の基礎を培う学校教育の在り方を求め、その改善や

地域に根ざした学校教育の充実に努めています。このため、本市教育委員会では、学習指導要領の趣旨及び本県教育の基本目標を踏まえるとともに、「足利市の教育目標」の具現化に向けて、各学校における教育が充実するよう推進しています。21世紀に生きる子供たちに求められるものは豊かな心をもちたくましく生きる力であり、生涯にわたって学ぼうとする意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質・能力です。

このようなことから、本市では、小学4年生、中学1年生を中心に、毎年足利学校を訪れ、論語素読の授業を行うことによって、足利学校の歴史や学びの精神、論語にある思いやりの心などを学んでいます。また、新規採用教職員に対し必ず足利学校を研修の場とすることや、新任・退職する校長は足利学校の歴代校長の墓をお参りするなど教職員の研修の場としても活用しています。

すべての子供にとって、学校は、認められ、自信をもち、自分の持ち味を存分に発揮し、明るく伸び伸びと学習や生活に取り組める楽しい場であればなりません。そのため、



各学校では、子供たちが主体的に学習している姿や心を育てている姿、その前向きに努力している過程をしっかりと把握し、認め、励ます教育の推進に努めています。

#### 4 かなふり松プロジェクトの推進

子供たちは皆、「勉強が分かるようになりたい」「運動が得意になりたい」など、常によりよい「自分」を求めて、様々なことを体験しながら成長している具体的な存在です。そして、子供たちは学校・家庭・地域で学び、育っています。子供たちが、学ぶ楽しさや喜びを実感しながら、進んで学ぶようになるためには、それぞれの学びの場が、適切な役割を果たしつつ、一体となって子供を育て

ていくことが大切であると考えます。

そこで、自学自習の精神を象徴する足利学校「字降松」にちなんで命名をした「かなふり松プロジェクト」を平成29年度に立ち上げました。学校では、子供たちがわくわくするような魅力ある授業の展開に取り組んでいます。家庭では、家族のふれあいを大切にしながら、家庭学習の習慣化に努めています。そして地域では、放課後の補習学習などで学校を支えるとともに、様々な体験活動を通して、社会性や文化・自然に親しむ心などを育てています。

足利学校のあるまち足利で育つ子供たちです。「生涯を通して自ら学ぶ子」「豊かな心をもち、たくましく学ぶ足利っ子」を学校・家庭・地域・行政が一体となって育てていきたいと考えています。

#### 5 おわりに

本市は、栃木県の南西部に位置し、市域の中央を西から東に渡良瀬川の清流が流れ、北部は緑の山並みが、南部は関東平野が広がり、史跡足利学校をはじめとする多くの史跡がある、歴史と文化のまちです。人口は約14万5千人、市内には市立小中学校33校、私立中学校1校のほか公立高校5校、私立高校3校、特別支援学校が2校、私立大学、私立短期大学がそれぞれ1校あります。かつては「足利銘仙」で名をはせた本市は、現在「映像のまち」として知られるようになりました。

引き続き「足利市の教育目標」の具現化を通して足利市ならではの生涯学習社会が実現できるよう教育行政を推進してまいります。



教育長  
若井祐平